「コミュニケーション上手は質問上手」

①「コミュニケーションとは、『やりとり、交流』を意味し、『問いに答える』、『問いを発する』は、その活性剤」

②「情報を鵜呑みにするだけでは、ボケてしまう。自分で考える習慣を身につけ、必要に応じて情報のストックある人に、質問して情報を引き出す。この二つの条件は、情報過多の時代に生きるには重要」

③「説得の名人は、質問上手。命令で動かすのは説得でなく、相手が進んで動いてくれないと、本来の説得と云えない」

④「『知らないから教えて欲しい』という気持ちを持ち続けられてこそ、よい質問者になれる」

⑤「コミュニケーションは、上から下へではなく、横から横に流れるのが望ましい」

⑥「コミュニケーションには、観察力も必要。違うという前提に立ってしっかり相手に目を向ければ、そこに意外な発見が生まれ、次第に相手の心の動きにも敏感になれる」

⑦「聞く、質問するは、相手の側に回ってみるところ－相手の土俵に上がる－から始まる。相手のセリフを代わりに言えるようになれば、歩み寄りも可能」

⑧「質問しづらいと迷わず、相手のフトコロに飛び込み、質問してみよう。恐れは自分が作るもの。思い切ってぶつかっていく経験が、自分に力をつけてくれるものである」

⑨「自問自答こそ質問上手への道。自問自答、すなわち自己内対話は、自分の頭でものを考える力を身につけるにはもってこいの方法。自分に向かう質問は、外に向かって発する質問を充実させる。結局、質問上手な人を目指す努力は、自分の器を大きくする努力に等しい」

引用文献：福田建、「コミュニケーション上手は質問上手」、文香社。